

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(~~認知症対応型共同生活介護事業所~~・小規模多機能型居宅介護事業所)


事業者名	グループホーム自由の丘 もみじ	評価実施年月日	H21.11.30
評価実施構成員氏名			
記録者氏名		記録年月日	H21.12.10

北海道

は外部評価項目



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1 ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	職員で話し合い理念を考え地域の方達と関わりを持ちながらその人らしく安心した生活を送ることに重点をおいております	○	町内会の廃品回収の手伝いをしたり祭りの子どもみこしの手伝いをしたりして交流を深めているが町内の行事にもっと参加したりホームの方にも気軽に来て頂く様にしたい
2 ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	ネーム裏の理念を毎日見るようにして毎日のケアに理念を反映しています スタッフと仕事が終わった後理念が反映しているか話をしています		
3 ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	月1回の広報に理念を載せている 行事などポスターに理念を記載して地域の方にお知らせしている ホーム内に掲示してあるので家族に説明しパンフレットにも理念を記載している	○	ホームの年間行事と理念を回覧板に載せて地域の方達に参加して頂ける様にする
2. 地域との支えあい			
4 ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。	出勤時や散歩時に挨拶をして時々立ち話をし気軽に声を掛けふれあっています 回覧板を持って来られる近所の方と話をしています	○	なかなか畑の作物の収穫を近所の方におすそ分けが出来る事が実現できないので実現する様にしたい
5 ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	廃品回収や子どもみこしのお手伝い等をしています。お祭り行事には子どもみこしの子ども達がホーム前庭まで来て下さりその際に入居者の皆様と一緒に話等をされ交流を深めている		
6 ○事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	同じ町内の事業所の研修会に参加したりして勉強しホームの行事に参加する様に声を掛けたりしています。また、実習生の受け入れも積極的にしています	○	なかなか地域の方々に認知症の研修が実現できていないので実現できる様に頑張りたいと思います

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>自己評価は全職員に行ってもらいサービスの質の向上に努めている また、外部評価の結果は全職員で話し合い見直しをしている</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>運営推進会議は2ヶ月に1回開き会議で話したことは職員に報告して今後のサービスの向上に活かしている</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>何か分からないことがあった場合等は電話または、市の担当者さんの所へ直接行き相談したりして関わりを持つようにしています</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>成年後見制度の研修には必ず出席して研修内容は職員全員に周知しています 10月から後見人が必要な入居者様が入所したので連携を行い支援していきたい</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>研修会には必ず参加して職員全員に周知しており、事例を交え虐待防止マニュアルにそった勉強会も定期的実施しています</p>		
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>契約時にはわかりやすく説明し入居者様の立場に立ち考えまた、ご家族が不安に思っていることをお聞き解消する様にしています</p>		
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p> <p>毎日の会話の中から表情、言動、態度からその方の思いを知りユニットごとのカンファレンスで話し合い対応している 苦情箱の設置をしていつでも意見交換できる体制をとっている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	面会時、広報等で入居者様の状況を伝えています。また、健康状態や伝えなくてはいけない必要がある時は電話で知らせ連絡帳、申し送りノート等で職員全員に周知しています		
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	年1回にご家族にアンケートを取りそれを基にして話し合い質の向上に努めて反映させています		
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1回は職員面談をしています。また、表情を見て何かあるような時は聞き出しています 6ヶ月に1度は意識調査をして意見を聞いています		できるだけ毎日全職員とのコミュニケーションを続けていきたい
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	ユニットの職員が協力し入居者様の急病や病院受診などで対応できる職員は確保している		
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	各ユニットの職員を固定し顔馴染みの職員によるケアをしている 新しい職員が入る場合も入居者様に紹介している ユニットの移動があった場合も必ず挨拶している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> <p>外部の研修にはなるべく多くの職員に受講できるようにしている 研修報告書を職員全員が見れるようになっています。時には全体会議で発表している</p>		
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p> <p>グループホーム協議会があり出席して交流を図り研修会などにも出席している また、町内の同業者の研修会に参加したりしている</p>		
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p> <p>常に職員のストレスや悩みを聞くように努めており定期的に親睦の場をつくり悩み等を聞き解消できる様にしている</p>		
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p> <p>職員の資格取得に支援している</p>	○	向上心を持ってスキルアップが出来る環境を作っていきたい
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>本人の思い、不安を受け止め状態を把握する様に努め安心してもらうことにより信頼関係をより充実したものに努めています</p>		
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>管理者を中心にご家族が何に困っているのか話を十分にお聞きし把握して意向に沿うようにしている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人やご家族の思いを聞いてできる支援は可能な限り柔軟な対応をしています		ユニットの入居者様のご希望で病院の作業療法に週に1回行っています
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	ご本人、ご家族にホームを見学して頂いてもらって顔見知りとなりそれまで関わってきた関係者に来てもらったり職員が家に訪問したりして安心してもらうようにしている		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	人生の先輩であるということを忘れずに敬い、感謝する事を忘れずに不安、喜び、楽しみ等の思いを共にして信頼関係を築くようにしている		
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族の思いに添うように毎日の暮らしの様子等を面会時や広報で知らせご家族との思いを共有し支援している		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	行事にご家族を誘ったり年賀状をご家族宛にご本人に書いてもらったり病院受診に可能な限り付き添って頂いたりしてご家族とのより良い関係に努めている		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	お盆時にお墓参りを続けている入居者様の支援をしたり、お中元やお歳暮を送る入居者様と買い物に行ったりして生活習慣を尊重している 月1回の短歌の会に行かれるように支援しています		
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	コーヒータイトム時や食事の時等は職員も一緒にコーヒを飲んだり食事をしたりして話をし入居者様同士仲良くして頂ける様職員が仲介している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	他の事業所へ移られた方にも入居者様と一緒に訪問して交流を深めている		ホームの行事に参加して頂ける様に関係を大切に継続的な付き合いができるように心がけていきたい
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご家族から情報を得たり、日々の関わりの中から言葉や表情などから思いをくみ取り把握する様にしている		
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族などに聞き取りをして情報の把握に努めている		
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	ご本人の生活の中から出来る事の把握に努めその人らしい生活を送って頂く様援助している		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している。	ご本人、ご家族に思い、意見、要望などを職員全員で聞き、アセスメント、モニタリングなどで介護計画を作成している		カンファレンスを出来るだけ多く開いて職員同士の意見交換をして介護計画を作成したい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	介護計画は3ヶ月ごとの見直しをしている また状態変化があればその時で話し合っ て見直しをしている		
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個人ファイルにその日の様子、本人の言葉等を記録しまた 申し送りノートで情報共有しそれを基に介護計画の見直しなど をしている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援 をしている。	ご家族がいつでも泊まれる様に支援 しています。また、病院送迎や買 い物などの要望があれば臨機 応変に柔軟に提供しています		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	運営推進会議等に民生委員である副会長さんが出席されるので協力を呼びかけています 消防の方々と協力をし避難訓練を行っています	<input type="radio"/>	もっとボランティアの方がホームに来て頂ける様に協力を呼びかけたい
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	1ヶ月1回床屋さんに来て頂いています	<input type="radio"/>	町内会の行事にもっと参加したい
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議等に地域包括支援センターの職員さんが参加されているので情報交換している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>43 ○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援をしている。</p>	<p>以前から利用されている病院で週に1回内科往診、2週間に1回は整形外科往診、必要であれば歯科往診受けておりました、かかりつけ医受診に同行している</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	神経科に受診しているので認知症に詳しい医師より助言をもらっている また、かかりつけ医に相談して助言をもらっている		
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	24時間連携で看護師が来るので相談、助言をもらっている		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入退院時には情報を病院に提供したり入院準備、お見舞いに行ったりご家族と話をしている 退院時には支援をしている		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	状態に変化があるごとに医師、看護師、ご家族と話し合いご本人の思いを尊重し職員全員で共有し支援している		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	ご本人、ご家族の意向を大切に状態変化があるごにかかりつけ医に連絡しその都度職員連絡して支援している		
49 ○住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	まだ移り住むことがないが移り住む事になった場合はこれまでの生活環境、ケアプラン等の支援状況等を情報提供する様に努めたい		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p> <p>日々の関わり方に配慮しまた、適切ではない対応については、その場で注意し会議等でもプライバシーについて話し情報管理を徹底している</p>		
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p> <p>職員の押しつけにならない様にいろいろな提案を選びやすいようにしている また、耳が遠い方には筆談をして意思表示が出来る様になっている</p>		
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p> <p>買い物、ドライブ、散歩など希望があれば対応していますし、遅くまで見たいテレビがあればその方のペースに合わせて対応している</p>		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p> <p>1ヶ月半に1回ホームに床屋さんに来ていますがご本人の要望があれば美容室にも行ける環境作りをしている 何か行事がある時は女性入居者様に化粧をして楽しんでもらっている</p>		
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p> <p>調理、盛り付け、食器洗いなど見守りしながら行っている。また、同じテーブルを囲んで食事をしているし、誕生日には好みのものを提供している</p>		
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。</p> <p>タバコは希望時に吸う事ができ灰皿とライターは預かる様にしている おやつをなるべく手作りにしている 誕生日などはご本人の好きな食べ物を支援している</p>	○	1ヶ月に1～2回は和菓子などを提供したい
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。</p> <p>必要な入居者様には排泄チェック表をつけてトイレで排泄出来る様トイレ誘導している</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。</p>		
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。</p>		<p>日中活動して生活のリズムをつけて頂いている。眠れない入居者様には居間でテレビを見たり会話をしたりまた、温かい牛乳を飲んで頂く様支援している</p>
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。</p>		<p>食事作り、食器洗い、おしぼり洗い、居室掃除などをお願いして感謝の言葉を伝えています</p>
60	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>		<p>ご本人の希望でお金を持っている入居者様がおり病院受診の後などスーパーでおやつを買ったりしている</p>
61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。</p>		<p>天気の良い日にはホーム前のベンチで外気浴をしている また、ドライブ、買い物など行くよう支援している</p>
62	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。</p>		<p>希望があれば墓参りなど行きたい場所への外出支援をしている</p>
63	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。</p>		<p>毎年ご家族には年賀状を出している。また、希望があれば電話や手紙を出せる様に支援している</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	24時間いつでも面会できるようになっている。また、希望があるとき面会者と入浴を一緒にしたりしている		
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束、高齢者虐待等の研修に参加し全体会議などで話し職員で共有認識している		
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	日中は玄関にカギをかけずに自由に出入りできるように支援している		
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	日中はフロアには必ず職員がいるようにしており、場を離れる時は声掛けをしあっている 夜間は2時間毎に様子観察し夜間共に記録は見通せる位置に座って書いている		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	状態を見ながら裁縫、プラモデルを作る方にはハサミ、ペンチなど利用して頂いている 夜間は包丁、ハサミ、ペンチなどはケースに入れて保管している		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	ヒヤリ・はつとを記録し職員に周知し報告書を作成して再発防止に努めている		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	職員全員が救急講習の研修を受けている また、夜間時の緊急対応についてマニュアルを整備し周知するようにしている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	年に2回日中、夜間を想定した避難訓練を行っている		
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	起こりうるリスクに対しては定期的に見直しをしている。また予測されるリスクに対してはご家族に話し納得させて頂き状況変化があるときはその都度話をして理解させて頂いています		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	普段の状態を観察し把握している。食欲、顔色、状態などに変化があれば血圧測定し必要があれば病院受診している		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	入居者様ごとに服用されている一覧表を作成している また、服用時には手渡しして服用したのを確認し服薬チェック表に書き込んで確認している		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	なるべく体を動かして頂く様に体操に参加するよう声掛けをしている 冷たい牛乳などを飲んで頂いています 朝食前にコップ一杯の水を飲んで頂き便秘の予防をしている		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後歯磨きの声掛けをしている。入居者様によって見守り、介助をしている。 義歯の洗浄を寝る前にしている		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	1日の食事摂取量、水分量をチェックして記録し情報を共有している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを作成し予防対策をしている。 また、内部研修も行い職員に周知している 玄関にマスクや手指消毒液を設置している 職員の手洗い、うがいを出勤時にしている		
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	冷蔵庫、冷凍庫の食材の残りを点検している。日付も書くようにしている まな板、フキンは毎日漂白している。まな板も食材により使い分けている 冷蔵庫も食材配達日に整理し残食材を点検し使い切る様になっている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	入り口に案内板を掲示している。また、プランターや花を植えたりしている		
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節を感じて頂くよう玄関に花を飾っている。また、料理も季節を感じてもらうように季節の食材を取り入れている		
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	廊下側にソファを置いてタバコを吸ったり仲良しの入居者様同士で話をしたりすることができる場所がある		
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	椅子、時計、タンス、テレビなど使い慣れた物が居室に置かれている 入居者様によって仏壇を持ってこられている方もいる		
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	温湿度計を置いて調整している。空気の入替えも入居者様の様子を見て行っている トイレには消臭剤を置いている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>85 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している。</p>	<p>車椅子を操作しやすい廊下、手すりがあり自立へ配慮している常に、見直しをして安全へ配慮している</p>		
<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>86 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>状態にあわせて環境整備をしている</p>		
<p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>87 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>玄関前にベンチを置きいつでも日光浴が出来るようになっている</p>		

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<ul style="list-style-type: none"> ① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての家族 ② 家族の2/3くらい ③ 家族の1/3くらい ④ ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)